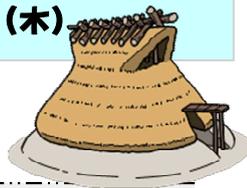




沼津市立大平小学校

出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年9月14日(木)

「授業では勉強していないことも知ることができ、学びをより深めることができました。」

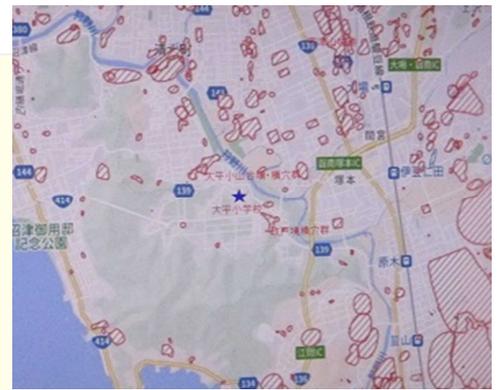
沼津市立大平小学校の6年生22人が、古代の歴史を学べる体験型歴史学習として、実体験を通して知識の習熟を図る目的で、職業講話、土器の分類体験、石器の試し切り体験の3つを行いました。



職業講話(発掘調査と保存処理の話)



初めに、発掘調査の仕方や保存処理の様子等、センターの業務内容を伝えました。次に、大平小学校周辺の遺跡について話しました。政戸境横穴群が、大平小学校の南部にあり、知っている子も何人かいて、静岡県埋蔵文化財センターが発掘調査を行ったことを話すと、子どもたちは熱心に説明を聞きメモをとる等、意欲的に学んでいました。



土器の分類体験



縄文土器・弥生土器・須恵器の3種類の完形土器を見ながら、土器製作やその時代の生活の様子などを伝えました。特に弥生土器の表面にある小さい穴から、米作りが行われていたことを話すと、子どもたちは興味深く見ていました。土器の特徴などを学んだ後に、土器片を分類しました。教科書や資料集などで見たことのある土器を

「写真でしか見たことがなかったから、土器を実際に触ることができてうれしかった。」



石器の試し切り体験



発掘された本物の打製石器、磨製石器・黒曜石などを直接触る減多にない体験をして、子どもたちはとても喜んでいました。次に、黒曜石で新聞紙や野菜を切ってみました。石

「少くらはは切れるかも知れないと思っていたら、こんなに切れると思わなかった。めっちゃ切れてびっくりした。」

「当時の生活の工夫を知ることができた。とても楽しかった。」

で物が切れるなんて大げさな、と思っていた子どもたちが、実際によく切れることを体感し、驚いていました。



先生方の感想

「授業では勉強していないことも知ることができ、学びをより深めることができました。体験活動に子どもたちも興味をもち取り組むことができました。当時の生活をより知るきっかけとなりました。専門的な知識を教えてください子どもも楽しめたと思います。」

